

# いくぶん



第17号 2013.3.15

## 今、注目すべき子どもの生活環境と日本の政策

育児文化研究センター長 宮崎つた子

皆様、3月に入り春の兆しを感じておられることと存じます。今年度も地域・関係者の皆様には、当センターのさまざまな活動にご支援・ご協力をいただき御礼申し上げます。先日、ある団体から東日本大震災の被災地から寄せられたメッセージ集が届きました。あの日から2年、時間だけは容赦なく過ぎていきますが、今も、一歩も前に進めない人たちがたくさんいます。その冊子を手にしなが、響きあう言葉の通奏低音に胸が熱くなりました。子どもの育ちや子育てをめぐる環境が大きく変化している今だからこそ、改めて、地域の「保温力」、親子が安心して笑い・涙を流せる「場」の果たす役割と必要性を感じています。

さて、政権の交代と共に歩みだした本年、教育・保育の世界は大きな変革期といわれています。そこで、子どもの置かれている環境に関する統計データから、近年話題にされる「子どもの貧困率」を見て驚きました。UNICEFの先進国間比較では、スウェーデン7.3%、ドイツ8.5%、フランス8.8%に比べ日本は14.9%でした。わが国では、次第にその割合が上がってきています。かつて日本は、一億総中流といわれ、貧困層が非常に少ないといわれてきましたが、いまや、世界でも貧困層が多い国の1つになっています。今後も、子どもの生活や保育、子育てに関する国の公費負担率等に注目しながら、経済的にたいへんな子どもたちでも、しっかりと社会の力で育てていくことが出来るように努力していきたいと思ひます。

最後に、この写真をどのようにご覧になられますか。「高齢者が子どもを助けている」「子どもが高齢者を助けている」、「それは、この写真を見たあなた自身の気持ち次第です」と、この冬にお世話になった AUCKLAND の Age concern manukau のスタッフの言葉です。まさしく、時代も国も関係なく引き寄せられる瞬間でした。



今後も微力ながらもお役に立つことができますよう努力を重ねていく所存です。どうかお力添えの程よろしくお願ひ申し上げます。

## おやこひろば たかたん 活動記録

「おやこひろばたかたん」は、月、木の限られた開所日にも関わらず、たくさんの親子に利用してもらっています。後半の活動として、初めて10月21日(日)にパパも参加できる遊ぼう会の場を持ちました。普段、子育てを母親に託している父親は、子どもの笑顔に満足そうに関わり父親ぶりを発揮していました。前葉津市長様もご観覧いただき、父親や母親との懇談会に参加していただきました。また、子育て講座では各研究員の先生方の専門とする講座が開催され、申し込みをされた親子が、歌遊びや絵本の読み聞かせなど楽しんでいます。育児相談も、月4回開催していますので、それぞれの先生からアドバイスをもらい子育てに生かしてもらっています。



☆開催日 : 月曜日 (0~1歳)  
木曜日 (2歳)  
10:00~12:00

☆場所 : 高田短期大学  
育児文化室

☆子育て相談 : 毎月 4回

☆子育て講座 : 毎月 1回

\*詳細は、おやこひろばたかたん HP。  
(携帯サイトもあります)

## <平成 24 年度 活動報告>

### ～元気っ津まつり 2012～



11月4日(日)に、津市一志体育館で「元気っ津まつり 2012 笑顔の輪を広げよう」が開催されました。当日は、約1500名の参加者を迎え、子育て支援団体のそれぞれ趣向を凝らした企画に多くの親子の笑顔あふれる1日となりました。本学は学生、教職員総勢120名ほどが参加しました。学生企画ブースとして、製作(バルーン・プラバン)コーナーとあそびステージ(大型ペープサート、大型絵本、人形劇)コーナー、パラバルーンなどを実施しました。また、乳幼児対象の『みんなでふれあい つながりひろば』のスタッフや学生サポーターとしても参画しました。多くの親子や地域の子育て支援団体と交流をもつことができました。



### ～わくわくフェスタ～

わくわくフェスタで出逢えた

子どもたちとその笑顔。



2月16・17日に県営サンアリーナで開催された「わくわくフェスタ」に学生30人が参加しました。入場者数は2万7千人で、過去最高だったそうです。高田短大の子育て応援隊として、「あそびひろば」では、他大学の学生ボランティアと協力して、「大型ペープサート」「大型紙芝居」を行いました。

2つの展示ブースでは、「プラバン」「バルーンアート」を子どもたちと制作しました。子ども達は自分の描いたプラバンがオーブントースターで小さくなる瞬間を驚たり、アンパンマンのバルーンに表情を付けたり、どの企画・運営の場面にも、喜ぶ子どもたちのたくさんの笑顔を見ることができました。



### ～子育て応援隊～



No	月日	日	時間	行事名	依頼内容	人数	主催団体
1	4月22日	日	8:30～16:00	第35回 松阪こどもまつり	おまつりの進行スタッフ	2	松阪市社会福祉協議会
2	7月7日	土	9:00～16:00	ぐみの木まつり	保育補助・模擬店手伝い	5	ぐみの木はいくえん まつり部保護者会
3	7月8日	日	9:00～16:00	ぐみの木まつり	保育補助・模擬店手伝い	4	ぐみの木はいくえん まつり部保護者会
4	7月14日	土	15:00～19:00	高田保育園 夏まつり	夏まつりの準備・運営・後片付け	20	高田保育園 保護者会
5	7月21日	土	17:00～20:00	まつさか幼稚園 納涼大会	ゲームコーナー企画運営・バザーお手伝い	5	まつさか幼稚園
6	7月21日	土	16:00～20:00	第3回 しんまち夏まつり	バルーン その他	13	新町地区自治会連合会
7	7月28日	土	9:00～19:30	みずほの里”夏まつり”	託児所子どものお世話	3	社会福祉法人 斎宮会
8	8月6日～11日	月～土	9:00～16:00	みずほの里 子ども参観日 週間	託児所子どもの援助	2	社会福祉法人 斎宮会
9	8月24日	金	9:00～11:30	PTA夏季行事	バルーンアート・エプロンシアター他	0	杉の子特別支援学校 PTA
10	8月25日	土	13:30～15:30	志摩市ファミリー・サポート・センター交流会	子ども縁日のお手伝い	3	志摩市ファミリーサポートセンター
11	8月26日	日	14:00～21:00	鈴鹿和順学園 夏祭り	施設の方とのふれあい	2	社会福祉法人 和順会
12	9月6日	木	9:30～11:30	津市大里幼稚園 未就園児の遊ぶ会 さくらんぼクラブ	パネルシアター・人形劇等	11	津市立大里幼稚園
13	11月3日～4日	土～日	10:00～15:00	元気っ津まつり2012	イベントのお手伝い	114	元気っ津まつりワーキング委員会事務局
14	12月16日	日	10:30～11:30	こぼと子ども会”お楽しみ会”	バルーンアート・ツイストバルーン他	2	こぼと子供会
15	2月16日～17日	土～日	10:00～15:00	第7回子育て応援 わくわくフェスタ	あそびひろばのサポート・子どもスタッフのリーダー役	30	三重県・みえ次世代育成応援ネットワーク

## <津市委託事業>

### ～津市つながりひろば交流会～

2年目に入ったつながりひろば交流会は、4回それぞれの場所で施設の見学も入れて実施しました。特に、11月3日、4日の元気っ津まつりへの参加は、出展するに当たって、各団体が会議を持ちながら計画をして、当日、中学生、短大生等のボランティアに支えられ盛況のうちに終了することができました。



- 第1回 日時：平成24年 5月17日 18：30～ 場所：ひろば「さくらんぼ」  
テーマ：①今年度に各施設（ひろば）及び団体で行う取り組みの紹介  
②今年度の交流会での取り組みをみつけよう
- 第2回 日時：平成24年 8月30日 18：30～ 場所：子育て支援ひろば「ろまん」  
テーマ：「子育てひろばにおける『子育て・親育ち』とは」
- 第3回 日時：平成24年11月15日 18：30～ 場所：b-カフェ  
テーマ：「子育て・親育ち」談義と元気っ津事業（市民向けイベント）について
- 第4回 日時：平成25年 2月14日 18：30～ 場所：津市一志保健センター  
テーマ：「保健センターの行っている子育て支援（母子保健）」

### ～津市子育て支援者研修会～ 津市のひろば支援者対象の研修会を開催しました。

- 第1回 平成24年8月9日15：00～ 場所：ヤナセクリニック「ふうか」  
テーマ：「ベビーマッサージ、親子、支援者の絆をつくろう」  
講師：柳瀬幸子先生（ヤナセクリニック院長）
- 第2回 平成25年3月7日18：30～ 場所：高田短期大学 大講義室  
テーマ：「ちょっと気になる子ども（と親）への対応」  
講師：山川紀子先生（三重中央医療センター小児科）



### ～津市母親・父親対象研修会～

子育て中のママとパパを対象としたベビーマッサージ講習会を本学、育児文化室において各々2回と開催しました。また、クリスマス仕様にした後期離乳食の講習会を調理実習室において行いました。



#### ★ママのベビーマッサージ

第1回 平成24年10月10日 10：00～ 平成24年12月9日

第2回 平成24年10月11日 10：00～

#### ★パパのベビーマッサージ

第1回 10：00～ 第2回 13：00～

#### ★クリスマス離乳食

平成24年12月9日 10：00～



## ～後期センター会議～

### 1.センター事業について

- 1) 平成 24 年度事業報告
- 2) 平成 25 年度事業に向けて



### 2.話題提供

テーマ：「子どもの問題と児童相談所」

話題提供者：泉 正幸 研究員

## 新入会 研究員の紹介

### 泉 正幸 研究員



私は児童相談所で勤務してきました。児童相談所の仕事は社会の変化とともに、大きく変わってきました。社会の動きや流とともに、その時代、時代で大きく傾向が変わります。発達に遅れのある子、不登校の子、非行の子、親に事情があって育ててもらえない子など社会の中では少数の子どもたちですが、大人社会の影の部分が子どもの問題として現われています。現在子どもの虐待あるいは放置という児童虐待が増加し、虐待死亡事件が大きな社会問題となってきました。大人社会の影響が子育て、子育ちのひびみとなり深刻化しています。子育て、子育ちの問題を考えると、大人社会の問題も考えていきたいと思っています。

## ～定例研究会～

今年度、定例研究会はテーマに沿って研究員の話題提供を受け、参加者間で活発な意見交換を行いました。3 回のテーマと話題提供者は以下の通りです。

### 第 32 回

「保育士養成課程における『障害児保育』の諸問題」 千草篤磨 研究員



### 第 33 回

「親子の共育ちを願って」  
太田和子 研究員



### 第 34 回

「社会の制度改正と子ども子育てをめぐる状況」 杉本郁夫 研究員



## 三重大学特任教授

### 河崎道夫先生 講演会

平成 25 年 2 月 24 日 14:00 より本学 2 号館大講義室において『子どもの遊びを豊かに一自然へと子どもをいざなう保育を』と題し講演会を開催しました。



とても寒い日でしたが 65 名の参加がありました。講師の多くの実践に基づいたお話から遊び経験の大切さを学びました。

## センターへのお問い合わせ・アクセス

### 高田短期大学育児文化研究センター

住所 〒514-0115

三重県津市一身田豊野 195

Tel (059) 253-7020 (センター直通)

(059) 232-2310 (代表)

Fax (059) 232-6317

Mail ikubun@takada-jc.ac.jp



<編集後記> 今年は、子育て支援関係者の方々、地域の方々のご協力のもと、さまざまな活動に力を入れることができました。来年度も親子が共に育つ支援をめざし、そのお手伝いできますよう、当センターの役割を果たしていきたいと思っています。ご協力よろしくお願いいたします。